

2020年2月3日

住友商事マシネックス

大阪オフィスリニューアルのお知らせ

弊社大阪オフィス(大阪市中央区)はリニューアル工事を実施し、今般完成しました事をお知らせ致します。

当社では、生産性の向上を目的に、社会全体の課題とされている働き方改革・時間や場所にとらわれない多様な働き方の実現や、社内外とのコラボレーション強化を実現するため、東京本社の移転に続き、大阪オフィスのリニューアルを行いました。

今回のリニューアルにあたり、以下の通り4つのコンセプトを設定しました。



このコンセプトに基づき、エリアごとに機能を分割し、執務エリアと会議室エリアの二か所に再構築。特に執務エリアに関してはフリーアドレス化し、社員がその時々々の業務の内容に応じて、フレキシブルにワークスペースを選択できる環境を整えました。また、会議室エリアでは個室会議室はもちろんのこと、社内外のコミュニケーションの場として、「ディスカバリーラウンジ」というスペースを設置し、コーヒーブレイクや、社内のちょっとしたミーティングから採用の会社説明会などの大人数の会議まで利用できる、多様なワークスタイルに対応できるオフィスとしました。

① 執務エリアについて



- ・**フリーアドレス**：その日の業務に応じて、座席を選択することができます。机の配置をランダムな配置とすることで、社員同士のコミュニケーション活性化を狙っています。また、個人用ロッカーを新たに配置。情報セキュリティの観点から机上に情報媒体を放置しないクリアデスクを徹底しています。セキュリティ面だけでなく、クリーンオフィス／クリアデスクという目標も設定しており、整理整頓がされた環境で業務を効率的に取り組むことができます。
- ・**打ち合わせスペース**：執務エリアを囲むように、小規模の打ち合わせスペースを多数準備。会議室の予約は行わず、その場ですぐに簡易的な打ち合わせができるような、機動性のある環境を構築しました。
- ・**人が出会う仕組み**：設備や備品を共用化し、従業員が歩く必要がある環境を意図的に作る事で、人が動き、出会い、会話や議論が生まれる事を期待しています。
- ・**生産性を上げる仕組み**：「座り過ぎ」の健康リスクを軽減するための昇降デスクや一人で集中できる個室ブースを配備しました。

② 会議室エリアについて



- ・**大型多目的施設(部屋名：ディスカバリーラウンジ)**：大人数の会議や来客対応、社内イベント等に利用できるスペースを準備。部署を横断したワーキンググループの活動や従来会議室内で行っていた会議も関係者以外にもオープンに実施する事で一層の社内コミュニケーションの活発化を図ります。また、スペース内ではビジネスに適した BGM を常時流し、音楽が与える適度な刺激で集中力や注意力の向上を図り、リラックスできる空間を構築しました。
- ・**会議室エリア**：リニューアル前の会議室は、窓などが少なく、圧迫感を感じてしまう環境でした。リニューアルで壁は全て透明なガラス張りとした解放感と部屋ごとに色彩の異なる床材を起用し心理的作用を取り入れ、オープンな意見交換が活発に行われています。
- ・**無線化対応**：会議室エリアだけでなく、執務エリア全体に Wi-Fi を整備。会議室内におけるディスプレイに関しては、無線で画面投影できる仕組みを構築しました。
- ・**ホワイトボード撤廃**：全会議室のディスプレイは無線対応だけでなく、電子黒板対応モデルを採用。画面にふれるだけで、電子黒板機能を利用したり、投影した資料に書き込むことができます。書き込んだ資料も画面のワンタップで、参加者の PC に無線で共有化することができるようスピード感のある情報共有が実現できる環境を整備。IT リテラシーを問わず、誰でも簡単に利用できる仕組みです。

新オフィスがお取引先様と新たなビジネスが創造される「場」となるよう、これまで以上に社業の発展に努めてまいりますので、是非お立ち寄り下さい。